



## 2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年8月5日

上場会社名 株式会社テクノスジャパン 上場取引所 東  
 コード番号 3666 URL <http://www.tecnos.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉岡 隆  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 小林 希与志 (TEL) 03-3374-1212  
 四半期報告書提出予定日 2022年8月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2023年3月期第1四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	2,462	6.9	275	△21.5	312	△16.2	213	△15.5
2022年3月期第1四半期	2,303	14.5	350	34.5	373	34.6	252	27.5

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 323百万円( 34.3%) 2022年3月期第1四半期 240百万円( △59.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	10.91	10.91
2022年3月期第1四半期	12.81	12.80

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	6,493	5,085	77.5
2022年3月期	6,803	5,308	77.5

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 5,033百万円 2022年3月期 5,270百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	14.00	14.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	0.00	—	14.10	14.10

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	5,160	12.4	600	△9.9	615	△10.9	415	△7.5	21.03
通期	10,390	14.8	1,200	4.9	1,240	4.1	830	27.6	42.06

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期1Q	20,400,000株	2022年3月期	20,400,000株
② 期末自己株式数	2023年3月期1Q	1,224,999株	2022年3月期	666,628株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期1Q	19,565,324株	2022年3月期1Q	19,724,272株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(追加情報)	8
(重要な後発事象)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大が落ち着きを見せ始めているものの、依然として企業活動や個人消費等への影響が懸念される状況にあります。また、世界経済においても新型コロナウイルス感染症の影響は大きく、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような経済環境の下、当社グループが属する情報サービス産業においては、顧客起点で企業の生産性向上や業務効率化を目的としたコストパフォーマンスの高いデジタル需要に対するソリューション提案が求められています。また、DXとデジタル社会の実現に向けた変革の加速が企業には必要とされており、大企業から中堅・中小企業までのデジタル化の取組みが加速していくことが予想されます。

このような中で、当社グループは、ERP（基幹システム）、CRM（顧客関係管理）、CBP（当社独自のプラットフォーム）を組み合わせたデジタルトランスフォーメーション（DX）ビジネスを展開しており、クラウドサービスであるCBPは積極的な投資による増強を行っております。また、従業員のテレワーク環境整備や優秀な社員の獲得なども含め、安定的な事業継続や当社の持続的成長につながる先行投資も継続してまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高2,462,880千円（前年同期比6.9%増）、営業利益275,060千円（同21.5%減）、経常利益312,935千円（同16.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益213,455千円（同15.5%減）となりました。

財又はサービスの種類別の業績については次のとおりであります。

（準委任契約等）

製造業、商社・小売業向けのERP/CRMシステム導入支援業務を中心に、売上高は2,342,926千円（前年同期比14.3%増）となりました。

（請負契約）

製造業、商社・小売業向けのERP/CRMシステム導入支援業務を中心に、売上高は57,462千円（前年同期比69.4%減）となりました。

（販売契約）

ツール・ライセンスの販売等により、売上高は62,491千円（前年同期比5.1%減）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産

流動資産の残高は、前連結会計年度末に比べ412,947千円減少し4,394,971千円となりました。これは主に現金及び預金が654,548千円減少し、売掛金及び契約資産が191,830千円、その他に含まれる前渡金17,417千円等が増加したこと等によるものであります。

固定資産の残高は、前連結会計年度末に比べ102,822千円増加し2,098,399千円となりました。これは主に投資有価証券が70,660千円、投資その他の資産のその他に含まれる出資金が25,000千円増加したこと等によるものであります。

以上の結果、資産合計は前連結会計年度末と比べ310,125千円減少し6,493,371千円となりました。

#### ②負債

流動負債の残高は、前連結会計年度末と比べ100,124千円減少し1,130,231千円となりました。これは主に未払法人税等が71,716千円、買掛金が33,026千円、未払費用が26,659千円減少し、賞与引当金が34,554千円増加したこと等によるものであります。

固定負債の残高は、前連結会計年度末と比べ13,141千円増加し277,333千円となりました。これは主に繰延税金負債が15,634千円増加したこと等によるものであります。

以上の結果、負債合計は、前連結会計年度末と比べ86,982千円減少し1,407,565千円となりました。

#### ③純資産

当第1四半期連結会計年度末における純資産の残高は、前連結会計年度末に比べ223,142千円減少し5,085,806

千円となりました。これは主に自己株式が273,574千円、利益剰余金が64,625千円減少し、為替換算調整勘定が52,478千円、その他有価証券評価差額金が49,038千円増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の連結業績予想につきましては、現時点においては2022年5月13日に発表いたしました業績予想と変更はございません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表において入手可能な情報に基づいて当社が判断したものであり、今後の受注プロジェクト遂行状況、お客様のIT投資戦略、経済情勢の変化、新型コロナウイルスの感染拡大、収束の状況や時期等の内的、外的様々な要因により、実際の業績と異なる場合があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,873,508	2,218,959
売掛金及び契約資産	1,753,295	1,945,126
仕掛品	3,684	4,404
前払費用	91,550	102,826
その他	96,648	129,084
貸倒引当金	△10,768	△5,428
流動資産合計	4,807,919	4,394,971
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備	224,141	224,257
減価償却累計額	△87,883	△91,581
建物附属設備（純額）	136,258	132,676
工具、器具及び備品	88,412	91,124
減価償却累計額	△68,095	△72,265
工具、器具及び備品（純額）	20,317	18,859
その他（純額）	—	8,337
有形固定資産合計	156,576	159,873
無形固定資産		
ソフトウェア	4,949	4,294
顧客関連資産	148,279	153,139
のれん	80,090	79,135
その他	36	36
無形固定資産合計	233,356	236,606
投資その他の資産		
投資有価証券	1,179,669	1,250,329
長期前払費用	50,915	52,135
繰延税金資産	23,589	22,866
敷金及び保証金	213,892	211,491
保険積立金	95,104	97,623
その他	42,472	67,472
投資その他の資産合計	1,605,643	1,701,918
固定資産合計	1,995,576	2,098,399
資産合計	6,803,496	6,493,371

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	416,610	383,584
1年内返済予定の長期借入金	21,436	—
未払金	107,644	94,494
未払費用	150,322	123,663
未払法人税等	169,893	98,176
未払消費税等	76,970	89,995
品質保証引当金	24,214	26,342
賞与引当金	71,511	106,065
役員賞与引当金	7,759	12,029
その他	183,993	195,880
流動負債合計	1,230,356	1,130,231
固定負債		
繰延税金負債	157,967	173,602
資産除去債務	77,983	77,965
その他	28,239	25,765
固定負債合計	264,191	277,333
負債合計	1,494,547	1,407,565
純資産の部		
株主資本		
資本金	562,520	562,520
資本剰余金	202,747	202,747
利益剰余金	4,514,586	4,449,961
自己株式	△568,269	△841,844
株主資本合計	4,711,584	4,373,384
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	531,628	580,666
為替換算調整勘定	26,807	79,286
その他の包括利益累計額合計	558,436	659,952
株式引受権	—	5,396
新株予約権	6,946	6,946
非支配株主持分	31,982	40,126
純資産合計	5,308,949	5,085,806
負債純資産合計	6,803,496	6,493,371

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上高	2,303,757	2,462,880
売上原価	1,565,934	1,740,519
売上総利益	737,823	722,361
販売費及び一般管理費	387,289	447,301
営業利益	350,534	275,060
営業外収益		
受取配当金	16,240	13,420
債務免除益	—	22,090
助成金収入	4,220	2,562
為替差益	294	1,811
その他	2,002	788
営業外収益合計	22,757	40,673
営業外費用		
支払手数料	—	2,797
営業外費用合計	—	2,797
経常利益	373,292	312,935
特別利益		
保険解約返戻金	911	—
特別利益合計	911	—
税金等調整前四半期純利益	374,203	312,935
法人税、住民税及び事業税	120,978	100,680
法人税等調整額	△3,076	△7,039
法人税等合計	117,901	93,641
四半期純利益	256,301	219,294
非支配株主に帰属する四半期純利益	3,649	5,838
親会社株主に帰属する四半期純利益	252,652	213,455

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益	256,301	219,294
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△50,231	49,038
為替換算調整勘定	34,590	54,784
その他の包括利益合計	△15,641	103,822
四半期包括利益	240,660	323,116
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	235,581	314,972
非支配株主に係る四半期包括利益	5,079	8,144

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過措置に従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。

なお、当該変更が四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(米国会計基準ASU第2016-02「リース」の適用)

米国会計基準を適用している在外子会社において、ASU第2016-02号「リース」を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、借手は原則としてすべてのリース取引を連結貸借対照表に資産及び負債として計上することとしております。当該会計基準の適用にあたっては、経過措置として認められている当該会計基準の適用による累積的影響を適用開始日に認識する方法を採用しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間の期首より、使用权資産は有形固定資産の「その他」に、リース負債は流動負債の「その他」及び固定負債の「その他」に含めて表示しております。

なお、当第1四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書に与える影響は軽微であります。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の影響)

新型コロナウイルス感染症に伴って会計上の見積りに用いた仮定は、直近の新型コロナウイルス感染症拡大の状況や経済、市場動向を踏まえ、前連結会計年度の有価証券報告書(追加情報)の記載から重要な変更はありません。

(重要な後発事象)

(自己株式の取得)

当社は、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づく自己株式の取得について、2022年5月13日開催の取締役会における決議に基づき、2022年7月1日から2022年7月7日までの間に以下のとおり市場買付を実施いたしました。

なお、上記決議に基づく自己株式の取得は終了しております。

1. 取得した株式の種類	当社普通株式
2. 取得した株式の総数	41,800株
3. 株式の取得価額の総額	20,174,200円
4. 取得方法	投資一任方式による市場買付

(参考)

2022年5月13日開催の取締役会における決議内容

(1) 取得を行う理由

機動的な資本政策の遂行及び資本効率の向上並びに株主還元を図るため。

(2) 取得対象株式の種類

当社普通株式

(3) 取得し得る株式の総数

700,000株(上限)

(発行済株式総数(自己株式を除く)に対する割合3.5%)

(4) 株式の取得価額の総額

300,000千円(上限)

(5) 取得期間

2022年5月16日から2022年9月30日

(6) 取得方法

投資一任方式による市場買付